



知ら咲か



2020 NOVEMBER NO.90

(編集発行)「知らせましょ・咲かせましょ」事務局・広報(住所)宝塚市逆瀬台 URL <http://www.shirasaka8.net/>

連絡先 「知ら咲か」ホームページの“問い合わせ”をご利用下さい。

新型コロナウイルス禍の中

少しずつ、少しずつ再開する地域活動

■地域活動には価値が

地域活動は「人と人とのふれあい」、「顔と顔を合わせて交流する」という対面でコミュニケーションをとりながら住みよいまちづくりを行う価値のある活動です。

当地域でも、自治会やサロン、助け合い見守り活動グループが人と人の繋がりを作り、輪を広げる活動を行ってきました。何十本、何百本という「顔なじみの関係」ができたことで、住みよいまちづくりが進んできたことは間違いなさそうです。知り合うことから繋がり、気を配り、助け合えるまちへの歩を進めてきたのでしよう。



■感染拡大の危惧と自粛

コロナ禍の中で対面コミュニケーションでは感染をしたり広げてしまう大きなリスクや不安があります。自分のまちを良くする活動がきっかけで命を落とすことがあっても、こんな悲しいことはありません。活動自粛の理由です。



■それでも...

それでも地域活動は何事にも変えがたい大事な活動であることは確かです。できるだけ対策をとったうえで再開が求められます。



■ウイルスに負けない方法二つ

負けない方法は二つに大別されます。

① これまでの活動を3密を避けて継続する

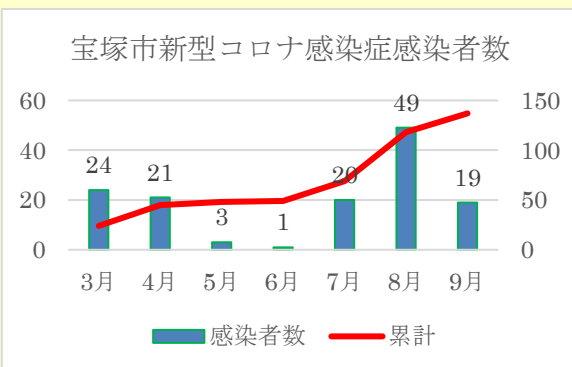
- 席の配置を工夫してお互いに距離をとる。
- 食事を出す場合は特に気をつける。
- こまめに換気をする。
- マスクは常に着用する。
- 高熱の方は参加しない。
- 場合によっては1回の参加人数を絞り多数回開く。
- 万一に備え参加者記録(名前、連絡先等)

② 既存の活動の発展、新しい活動の展開

- 必要な活動を探る
今だからこそ必要な活動は何かを考え、実行に移す機会かもしれません。
- 情報を届ける
コミュニケーションの機会が少ないこのような時だからこそ、情報を必要としている方がいるかもしれません。正しい情報や地域の情報を届けましょう。
- 対面でない情報発信
・電話やFAX
・手紙やFAX
・インターネットを活用

■感染者の推移

宝塚市がまとめた3月から9月までの感染者数の推移をグラフでご覧下さい。
緊急事態宣言下の3月、4月と7月、8月、9月とでは人的にはそう変わりありません。



■状況を認め活動を再開

新型コロナウイルス感染症に対する注意事項自体は全く変えることなく、続けなければいけないようです。
地域に有用な活動の再開は厳しい現状を認めながら、各活動主体グループで少しずつ動き始めたようです。

活動再開の動きと注意点紹介 新型コロナウイルス感染症予防措置

まだまだ新型コロナウイルス感染症の新規感染者が連日発表されています。他方で、秋になり社会活動の制限基準の緩和が進んでいます。公共施設の使用は左の基準に基づき行われています。

■新型コロナウイルス感染症にかかる対策についての兵庫県の対処方針
市町立施設等に対しては感染防止対策の徹底を周知する。

- 感染防止対策
- ・来館者多数の場合の入場制限
- ・発熱、咳などの症状のある者の入場禁止
- ・発熱チェック
- ・マスク装着の徹底、消毒液の設置
- ・演者と観客との一定の距離の確保(最低2m)
- ・密閉・密集・密接状態の回避(休憩時間・回数増、換気など)
- ・入館者の氏名・連絡先等の把握
- ・「兵庫県新型コロナウイルス追跡システム」QRコードの掲示と来館者への登録呼びかけ

① 当地域の各マンションでもマスク着用、手指の消毒を初めとする細心の注意が払われているようです。

■兵庫県のイベントの開催 自粛要請等の内容 (11月30日)

② 大声での歓声・声援等がないことを前提としうるもの(例えば、クラシック音楽コンサート、演劇・舞踊、伝統芸能、芸能・演芸、公演、式典、展示会等)については収容率100%以内。
大声での歓声・声援等が想定されるもの(例えばロック、ポップコンサート、スポーツイベント、公営競技、公演、ライブハウス・ナイトクラブでのイベント等)については収容率50%以内。

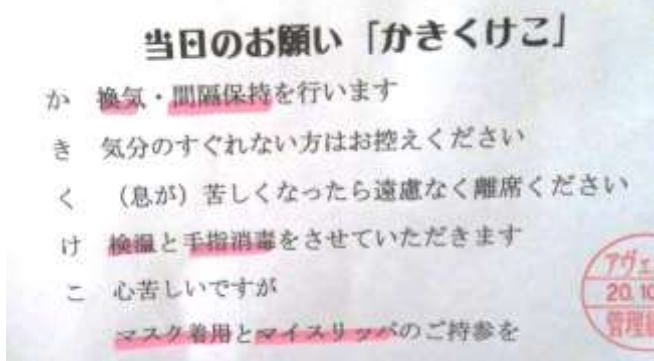
ただし、人数上限が設定されています。
*収容人数1万人超は収容人数の50%、人数1万人以下は5千人(人数、率の小さい方)

■動き出した地域の活動

10月から少しずつ地域の中からイベント情報が聞こえてきました。掲示されていたチラシでは、それぞれのイベント開催で細心の注意が払われているのを見て取れました。

●作品展とアフタヌーンコンサート(ふれあいサロンアヴェルデ)10月18日

告知では「換気・間隔保持」「体調気遣い」「検温・手指消毒」「マスク着用等」を付記されていました。



●第12回白瀬川絵画サークル ル作品展(逆瀬台マンション) 10月24日(土)25日(日)

告知には吹き出しで「新型コロナウイルス感染症予防」「マスクの着用・手の消毒・検温、ソーシャルディスタンス」

「ダンス」が記されています。

いずれの主催者とも会場運営から当日の運営まですべてに気を配っていることが分かりました。十分気を遣うことが大切です。



逆瀬川グリーンハイツのワンコインコンサート 11月15日オペラ歌手によるお喋りコンサート

●コンサートの復活

新型コロナウイルス感染症の影響でしばらく中止を余儀なくされていた逆瀬川グリーンハイツ自治会主催の「ワンコインコンサート」が再開されます。又、今年のゆずり葉コミュニティ活動事業の一環でもあります。

●オペラ歌手によるお喋りコンサート

オペラ歌手、橘茂さんと

再開までには実施方法や入場者数をどうするかなど国や県、市などの情報も集めながら慎重に検討を加えたようです。

ピアノの金岡優子さんが今年も出演下さいます。曲目も谷村新司の「昴」、シューマンの「闘牛士の歌」、日本の歌曲、オペラ、アリアをお楽しみ下さい。

このコンサートも感染予防を同時にながらという制約条件を満たしての開催を企画されたそうです。このための実施項目として、①参加者の氏名登録、②体温測定、③手指消毒、④マスク着用、⑤通風(換気)の確保・をしっかりと取り決めています。

●感染対策

このコンサートも感染予防を同時にながらという制約条件を満たしての開催を企画されたそうです。このための実施項目として、①参加者の氏名登録、②体温測定、③手指消毒、④マスク着用、⑤通風(換気)の確保・をしっかりと取り決めています。

●演奏者と客席の隔離

特筆すべきこととして演奏者と客席を隔離する「透明の衝立」(高さ1.8m×2.7m)を新規に三基製作されています。

●本格派バリトンとピアノ

演奏を楽しむだけでなく「新型コロナウイルス感染症」に立ち向かう活動の一端を見られるのも楽しみの一つです。(衝立の仕様図は左)

昨年の「知ら咲か」の取材班からは、すばらしい演奏と楽しいお喋りを堪能したとの報告がありました。掲載した記事からもその雰囲気伝わって来ました。やはり、身近な場所で聴くことが出来る機会が楽しみです。

『名曲』を、本格派バリトン歌手のライブ演奏でお楽しみください

オペラ歌手による お喋りコンサート (第2回)

期日：2020年 **11月15日(日)**

開演：14時～(約1時間半)

(開場は、13時30分)

会場：逆瀬川グリーンハイツ・集会所
(管理棟2階)

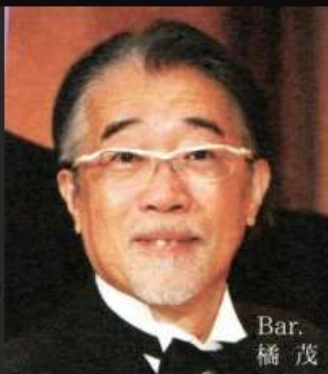
出演：橘茂 (バリトン)

金岡優子 (ピアノ)

曲目：「昴(谷村新司)」、「闘牛士の歌(ビゼー)」、「二人のてきだん兵(シューマン)」…など、
(日本の歌曲、外国の歌曲、オペラ・アリア、)

「マスクの着用」をお願いします。

参加費：ワンコイン (500円)



Bar. 橘茂

京都市立芸術大学卒業。ミュンヘン国立音楽大学大学院修了。ドイツ、オーストリアで劇場歌手を務めたのち帰国。京都市音楽家協会賞、ザルツブルグ国際モーツァルトコンクール(1位なし)2位、JSG国際シューベルトコンクール2位、及び聴衆特別賞…など受賞。現在、関西二楽会、日本シューベルト協会、神戸オペラカンパニーの各会員。近畿大学、NHKカルチャー(梅田、西宮ガーデンズ教室)講師。だいたいリート主宰。



Piano 金岡優子

大阪音楽大学ピアノ専攻卒業。在学中より声楽とのアンサンブル活動に積極参加し、数多くのコンサートに出演。喜歌劇楽友協会、大阪音楽大学ザ・カレッジオペラハウス、みつなかオペラ、伊丹市民オペラなどの関西を中心とする主要なオペラ団体にコレペイトルを務め公演を成功させた。現在、神戸オペラカンパニー会員、MaDonna歌劇団メンバー。

主催 逆瀬川グリーンハイツ自治会

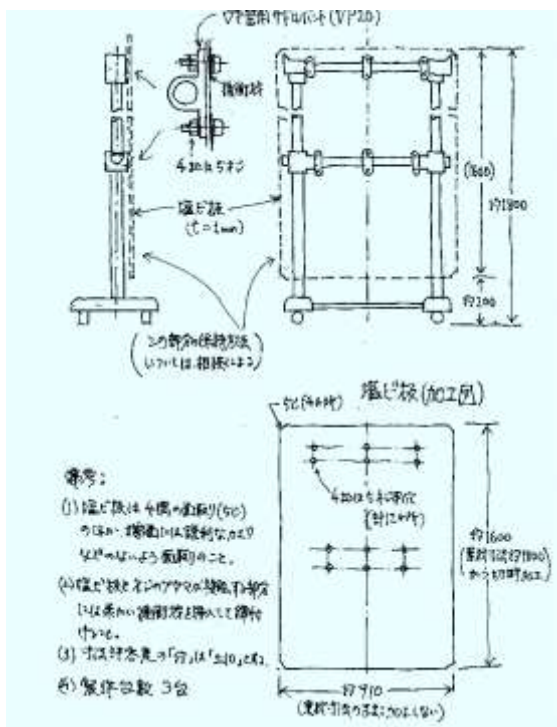


写真 1段目：白瀬川第一公園、 2段目：白瀬川第二公園、
3段目：逆瀬台四丁目公園、 4段目：逆瀬台三丁目公園



白瀬川沿いの公園(先月号掲載以外)

先月号で白瀬川沿いの公園を紹介しました。紹介していない他の公園名も確認したいとの要望がありましたので、他の公園も写真を撮ってきましたので紹介致します。

■白瀬川第一公園

逆瀬川マンションにある公園で、春になれば桜が楽しめる公園でみんなの憩いの場になっています。フェンス、金網に囲まれ

た静かな公園で入り口の確認が必要です。

■白瀬川第二公園

逆瀬台住宅集会所に隣接する公園です。住宅の間に位置し、すぐ集まれる広場です。お子様用遊具もあり親子でくつろげそうです。

■逆瀬台四丁目公園

白瀬川沿いでは一番大きい公園です。上下二面あり、春には桜まつりが開かれています。地域ボランティアの方々が手入れをされている花壇の花や木々が、四季を通じて楽しめます。毎日、多くの方が訪れています。

■逆瀬台三丁目公園

シャントイに隣接する落ち着いた公園です。敷地も案外広く、白瀬川沿いの散歩でも一休みできる感じですが、公園の木はかなり大きくなっていますので、夏場には木陰の休憩も出来そうです。

差し上げます

逆瀬川マンションにお住まいの土村様から「ジョギングマシンをご希望の方で引き取り出来る方に差し上げます」とのお話がありました。「知ら咲か」は関与致しませんので、希望される方は直接、土村さんに連絡をお願いいたします。

☎(0797)878887
土村(つちむら)



読者寄稿 (皆さまのスペースです)

浅学非才!
大変な失礼をしていました!
以後くれぐれも
気を付けます!

わたしは集会等お開きの時には「ご苦労様でした!」ということが多いです。五十五年程度のサラリーマン生活においてもそうでした。

「ご苦労さん!ご苦労さんでした!ご苦労様でした!ご苦労様でございました!等々相手により使い分けしながら!

一方「お疲れさまでした」「お疲れさん」はよく聞きました。自分自身はあまり使いませんでしたが。

ある時、投稿原稿の校正をお願いした方から「長い間本当にご苦労様でした」は「上目線の表現なので直されたほうがいいですよ!」と指摘をうけてしまいました。

なんで!なんで!正直そんなことないやろう!と。

正直、一瞬思ってしまった。

手持ちの辞書で調べてみよ

と「三省堂の国語辞典」を引っ張りだし、「ご苦労」「御苦労」欄を開いてみました。「苦勞の丁寧語」と記載があり、他人の骨折りを感謝する意を表す。ご苦労様と言つて皆をねぎらつた。と!

それでも!との思いでパソコンで『ご苦労さまです』を開いてみました。

「ご苦労様です」はビジネスシーンで使われている表現ですが目上の人から目下の人に對して使います。とありまし

さらに、『お疲れ様です』を検索すると仕事で疲れている相手に對して労いや気づかいを表す言葉で上下関係を意識することなく誰にでも使うことができる。と・・・

浅学非才をシミジミと感じながら、猛反省です。ご教示頂いた方には有難く感謝している次第です。

正直、うっかりすると「ご苦労様です」と言ってしまうので気を付けます。

(記HB)

自然豊かな環境と
あらためて思うこと

十年以上も前の夏の事ですが玄関を開けるとお腹が見せてもがいて長細い虫がいました。子供のころ凶鑑でしか見たことがなかった「タマムシ」でした。結構自分ではテンションが上がったことを覚えています。

そしてこの夏また「タマムシ」を発見、早々に写真撮ろうと思つたのですが廊下で撮るよりきれいに見えるようにと思つてペランダの花をバックに準備万端。さあ、撮るとしたとき羽ばたきながらゴルフ場のほうへ飛んで行ってしまいました。ちよつと呆然とした自分がいました。写真撮るは十年ぐらい前の時のものです。

(Y)



災害時非常用発電機
投光器セツト購入

非常用発電機エンジン作動体験会(10月11日)

逆瀬川マンションは、この度、発電機を購入しました。災害時に絶対必要なもので、各棟に一機ずつ備えました。

いつか起こりうる災害のためです。停電になった時に活躍します。発電機のエンジン動作を経験して、素早く行動出来るのがベストです。一つ一つですが災害の為の備品をそろえることの大切さが伺えます。

備えあれば憂いなしです。

記事 (O)



白瀬の自然

やつでの花

Fatsia japonica Decne. et Planch.
 こぎ科ヤツデ属の植物です。

ヤツデは秋から冬の花の少ない時期に次々と長期間にわたって花を咲かせます。天気の良い日にはハエなどの小さな虫が花にたかっているのを見かけます。

花序は2回分裂してその先端に多数の花が球場に付きます。花は花序の先端のものから咲き始め、花弁が白色で5枚あります。おしべも5本。めしべは先端が5つに分かれています。開花した直後は集まって1本に見えます。めしべの下部は花盤と呼ばれる部分があり、ここから蜜が分泌されるようです。花弁は比較的早期に脱落し、果実の上をめしべが残った状態になるのですが、この時期にも昆虫がたくさん訪れており蜜をたくさん出していると思われます。

秋も深まった頃の開花ですから、昆虫にとっては貴重な蜜葉となっているでしょう。

このような他の花の時期とずれた開花は花粉の媒介者である昆虫の来訪を誘い受精を確実なものにする種の保存にとっての知恵なのかもしれません。

他の植物とは歩調を合わせず、花の少ない時期の開花戦略は、落葉樹が葉を落とした林の中で大きな成果を上げているヤツデ独特の生き方なのでしょう。

どうしても八つに分かれた独特の葉っぱばかりに目がいきますが、花には花の深い意味がある楽しい植物です。



【編集後記】

秋になり、しばらく休止していた行事や会合が再開されつつあります。全国的な人の移動が見込まれたり、千人を超えるイベントの開催についての基準が示され、主催者はそれに見合った形で開催されています。例えば「大声での歓声、声援がないことを前提としうる音楽コンサートや公演等」は収容率100%での開催を認めています。他方で「大声での歓声・声援が想定されるロックやポップコンサート、スポーツイベント等」は収容率50%が上限です。又、「万人を超える場合は、それに収容人数一万人を超える場合は収容率50%まで、一万人以下の場合には5千人まで」と示されました。

さて、地域の小規模な集まりはどうでしょうか？
 やはり感染しない、感染させないを基本とすればいいのでしよう。「マスク着用、換気、密にならない距離を空ける、検温を行う等を守ることでしよう。要は、一人一人の自覚に委ねるのが基本的な考えです。それを克服した楽しい地域の活動を期待しています。

(S)